

令和6年 第3回 大仙市議会定例会

# 市政報告

令和6年8月23日

大仙市長 老松博行

令和6年第3回大仙市議会定例会にあたり、諸般の状況について申し上げます。

はじめに、大雨による災害についてであります。

東北地方を通過した活発な梅雨前線の影響で、県内では立て続けに大雨による災害に見舞われており、特に7月24日から26日にかけて発生した豪雨では、本県と山形県の県境付近を中心に観測史上最大となる雨量を記録するなど、甚大な被害をもたらしております。

市では、この大雨災害に際し、刻一刻と変化する局面にあわせて対策組織の見直しを行いながら警戒や対策に当たるとともに、避難所を開設したうえで、河川の増水による被害や土砂災害のおそれがある大曲、神岡、西仙北、協和及び南外地域の延べ4, 324世帯9, 770人に避難指示を発令するなど、早め早めの対応に努めたところであります。

また、18箇所42基に増強した常設ポンプに加え、排水の状況にあわせ、可搬式ポンプや国や、県との連携により排水ポンプ車を隨時配備するなど、水害被害を最小限に防ぐため、万全の体制で内水対策にあたっております。

幸いにして、一連の大雨による人的被害はなかったものの、断続的に降り続いた大雨により、大曲地域で33棟、神岡地域で7棟、西仙北地域で4棟、協和及び南外地域で各1棟、あわせて46棟の住家に床下

浸水被害が生じたほか、17事業所に床上・床下浸水被害が生じております。さらに、市内全域において、通行止めなどの交通障害や土砂崩れ等による道路への被害が確認されているほか、冠水や浸水による農作物への被害が814ヘクタールに及び、農地・農業用施設144箇所、林道17路線63箇所にも被害が生じております。

被害に遭われた皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

市では、復旧事業に係る補正予算を8月9日付で専決処分させていたただくなど、迅速な対応に努めているところであり、引き続き早期の復旧に向けて全力で取り組んでまいります。

次に、新しい時代を予感させる革新的な開会式で幕を開けた「パリ・オリンピック」の最終日を飾る女子マラソンにおいて、本市出身の鈴木優花選手が6位入賞を果たし、花の都で一際輝く「優花スマイル」を見せてくださいました。本県出身マラソン選手のオリンピック入賞は、男女通じて初の快挙であり、心から敬意と感謝を申し上げる次第であります。

激しいアップダウンが続く、史上最も過酷と評される難コースでありましたが、持ち前の勝負強さと粘り強さを発揮され、海外の実力者と肩を並べ、終盤まで先頭争いを繰り広げるなど、歴史や芸術、文化が薫る街並みを颯爽と駆け抜ける会心の走りで、初となるオリンピックの舞台において、自己記録を更新しての堂々の入賞となりました。

当方は、中仙市民会館ドンパルを会場にパブリックビューイングを開催しており、「鈴木優花選手を応援する会」の皆様や中仙小学校、中仙中学校の児童生徒など約400人が詰めかけ、熱いエールを送っております。私も参加させていただきましたが、ご自身が勝負どころとする上り坂での力走や先頭集団に食らいつく勇姿に、会場にいる誰もが胸を熱くし、会場全体が「優花コール」の大声援に包まれ、ゴールの瞬間には惜しみない拍手が送られております。

不断の努力により、「夢」を「現実」のものに変えたオリンピックでの大躍進は、我々大仙市民の大きな誇りであり、市民の皆様に元気と感動を、そして未来を担うこどもたちに勇気と希望をもたらすとともに、本市のスポーツ振興に大きく貢献するものであります。

市といたしましては、このたびの活躍を称え、大仙市民賞を授与するとともに、今般の入賞を弾みに、ロサンゼルス・オリンピックへの出場をはじめ、さらなる高みに向けたご活躍を大いに期待し、引き続き市をあげて応援してまいりたいと考えております。

次に、花火産業推進プロジェクトについてであります。

インバウンドの拡大や「大曲の花火」の海外展開に向け、国際的な認知度の向上を図る取組の一つとして、「大曲の花火」実行委員会がカナダの「モントリオール国際花火競技大会」に初出場を果たし、現地

時間の7月4日、割物や和火などの日本の伝統的な花火に加え、型物やグラデーション花火をはじめとした日本特有の花火を織り交ぜながら、「THE GREATEST HANABI SHOW」と題した約4,600発の花火を打ち上げております。

目標とする金賞には届かなかったものの、花火一発一発の品質の高さが評価され銅賞を受賞するとともに、環境に配慮した取組が認められ特別賞も同時に受賞しております。また、日本の花火を目にする機会が少ない現地の観客の皆様からは、大きな拍手と多くの賞賛の声をいただいたところであり、世界中の人々に日本の花火の素晴らしいを伝えるとともに、大曲の花火の創造性や技術力の高さを発信し、グローバル展開に向けた確かな足がかりを得ることができたものと捉えております。

クラウドファンディングや企業版ふるさと納税を通じ寄附をいただいた皆様をはじめ、大曲の花火の挑戦を後押ししていただいたすべての皆様に心から感謝と御礼を申し上げますとともに、この挑戦を一つの契機に、関係団体と一丸となり、観光誘客や海外での打上機会の増加、花火玉の輸出拡大など、グローバルな花火産業基盤の確立に向けた取組をより一層推進してまいります。

次に、大仙市誕生20周年記念事業についてであります。

大仙市誕生20周年記念ロゴマークとキャッチフレーズの決定を受け、

この7月から記念事業が本格的にスタートしております。冠事業のうち、先行事業として6月16日に開催した「座間市・大仙市友好交流都市協定締結10周年アニバーサリーコンサート」では、友好交流都市である座間市から在日米陸軍軍楽隊をお迎えし、大仙市消防団音楽隊や中仙、西仙北及び南外中学校の吹奏楽部との共演により、この節目を祝福する素晴らしいハーモニーが満員の会場を包み込んでおります。

8月5日には、全国を舞台に活躍されている市内在住のアーティスト、小野崎晶さんが制作した花火アートパネルをJR大曲駅の東西自由通路に設置し、除幕式を行っております。また、誰でも気軽にアートを楽しむことができるスペースとして、6日にイオンモール大曲内に開設した「大仙市民ギャラリー」では、第1弾となる企画展として、小野崎さんの作品展を開催しているほか、はなび・アムでは「大仙市と『大曲の花火』20年のあゆみ」と題した特別企画展を開催しております。

8月15日に開催した「大仙市二十歳を祝う会」では、大仙市消防団音楽隊のアニバーサリー演奏や、アカペラグループ「夜にワルツ」によるスペシャルステージなどのコラボ企画をお届けしたほか、広報への特集記事掲載や協賛事業の募集なども行っているところであり、協賛事業には現在、6団体からの申請を受け付けております。今後も様々な記念事業が予定されておりますので、多くの皆様にご参加いただき、メモリアルイヤーを盛り上げてまいりたいと考えております。

次に、主な部局ごとに諸般の報告を申し上げます。

はじめに、企画部関係についてであります。

若者チャレンジ応援プロジェクトにつきましては、現在、「若者チャレンジ応援補助金」の提案事業を募集しており、8月20日時点でプロジェクトチャレンジに2件、ユースチャレンジに3件と、昨年度を上回る申請を受け付けております。

このほか、市内でフィールドワークを行う大学生等に対する旅費等の支援や、様々な分野で活動する女性を対象に、SNSを通じたコミュニティの形成を促進する取組など、様々なサポートを展開しておりますが、若者の考え方やアイデアを幅広く伺い、ニーズに即した、より効果的な支援策を検討するため、新たに「若者チャレンジモニター制度」を7月に開始しており、29人の皆様に登録をいただいております。

今後も、様々な機会を捉えて若者の多様な声を積極的に伺いながら、若者がチャレンジできる環境づくりをより一層推進してまいります。

次に、市民部関係についてであります。

地球温暖化防止対策につきましては、ゼロカーボンシティ推進事業として、一般住宅への太陽光発電設備の導入や、EV自動車の購入などに対する支援を行っておりますが、今般、脱炭素に向けた事業者の皆様の積極的な取組を後押しするため、太陽光発電設備の導入に対する支援を

行うこととしており、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

また、この10月には、連携協定を締結している、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社のご協力のもと、脱炭素に向けた意識の高揚を図るため、市内の事業所を対象に、環境と安全への配慮を競う「エコドライブ選手権」を開催することとしております。

公共施設へのEV充電器の設置につきましては、急速充電器の導入を予定している「道の駅 協和」及び「道の駅 なかせん」への設置を先行して進めることとしており、その他の施設につきましても、国の補助金採択を受け次第、順次設置してまいります。

次に、健康福祉部関係についてであります。

熱中症対策につきましては、改正気候変動適応法に基づく「クーリングシェルター」として、各地域の拠点施設を中心に基準を満たす18の公共施設に加え、株式会社タカヤナギ、イオン大曲店及び株式会社グランドパレス川端に協力をいただき、民間の6施設を指定しております。また、市内29の郵便局にもご協力いただき、市が指定するクーリングシェルターと同様の利用が可能となっており、引き続き民間施設に協力を呼びかけながら、熱中症対策の強化に努めてまいります。

介護予防事業につきましては、市民の皆様が身近な場所において自身の体力や、加齢に伴う運動機能の状態を把握できる機会として、

新たに「体力測定会」を実施しております。この測定会については、8月2日に健康福祉会館を会場に実施しておりますが、今後は町内会や老人クラブなど、希望する団体を対象に出張型で実施することとしており、測定結果をもとに、一人ひとりの体力にあわせた運動指導や、定期的な健康相談ができる「通年型の運動教室」を市内3つのエリアで行うなど、健康づくりや介護予防活動に結びつけてまいります。

次に、こども未来部関係についてであります。

「こどもに寄り添い、子育てに優しいまち」づくりの羅針盤となる「大仙市こども計画」につきましては、こどもや子育て世帯の声を計画に反映するため、高校生を対象としたワークショップのほか、市内の小・中学校や特別支援学校に在学する児童生徒と、その保護者を対象としたアンケート調査を実施しております。

ワークショップでは、市内4つの高校から21名の生徒に参加いただき、高校生の視点から大仙市の「今」を考え、そして「未来」を展望しながら、理想的なまちづくりについて活発な話し合いが行われており、最終日には私も出席させていただき、直接ご意見やアイデアを伺っております。今後も様々な機会を通じて当事者の声を伺い、こども計画はもとより、市の各種計画や施策にも反映しながら、「こどもまんなか社会」の実現に向けた取組を進めてまいります。

次に、農林部関係についてであります。

大豆産地化推進事業につきましては、生産技術の高位平準化を目的に、7月30日、西仙北地域において現地検討会を開催しております。当日は大豆生産者のほか、農研機構東北農業研究センターをはじめ、国や県、クボタグループなどの関係者が参加し、収量・品質の向上に向けた栽培技術について理解を深めております。

スマート農業の推進につきましては、県や秋田県立大学と連携し、農業用ドローンを活用した水稻直播栽培の実証を進めており、8月7日に開催した現地検討会において順調な生育を確認しております。

畜産振興につきましては、7月1日、笹倉公園を会場に第18回大仙・仙北・美郷畜産共進会が開催され、大曲農業高等学校が飼養した肉用牛2頭を初めて出品し、いずれの牛も上位入賞を果たしております。今回の入賞は、3年後に開催される「第13回全国和牛能力共進会」への出品に向け、確かな手応えになったものと考えており、県や関係団体などと連携を図りながら、引き続き挑戦を後押ししてまいります。

鳥獣被害防止対策につきましては、8月22日現在、ツキノワグマの目撃情報が99件寄せられており、昨年の同時期と比較して8件程度の増となっております。県内では、既に人身被害が複数件発生しているほか、目撃件数が高止まりしており、秋田県のツキノワグマ出没警報の延長が繰り返される予断を許さない状況にあります。

こうした状況を受け、例年、目撃件数が増加するこれからの季節に備え、国の総合支援事業を活用した緩衝帯の整備や、捕獲へのデジタル技術の導入に加え、放任果樹の伐採に対する支援など、被害防止対策のさらなる強化を図るため、今次定例会に予算の補正を上程しており、本会議初日での議決をお願いしております。

次に、経済産業部関係についてであります。

雇用・就業対策につきましては、7月9日、大曲交流センターを会場に令和6年度「仙北地域求人説明会」が開催されており、ハローワーク大曲と角館管内の企業31社が出展し、来年3月に卒業予定の高校3年生101人が参加しております。管内の就職希望者240人のうち県内への就職希望者は185人で、県内就職希望率は前年同時期とほぼ同率の77.1%となっており、依然として高い水準を維持しております。今後も関係機関と連携を図りながら、地元就職を希望する若者へのきめ細やかな支援を通じ、定着を促進してまいります。

次に、観光文化スポーツ部関係についてであります。

親父たちの甲子園「第6回全国500歳野球大会」につきましては、県外25チームと県内7チームをお迎えし、7月13日から3日間の日程で開催しております。決勝戦は、全県大会を2連覇している追分

野球クラブと、全国大会2連覇中の岩手県の I・O・F・C<sup>アイ・オー・エフ・シークラブ</sup>が対戦し、大熱戦の末、I・O・F・C<sup>アイ・オー・エフ・シークラブ</sup>が3連覇を成し遂げております。

次に、建設部関係についてであります。

「雄物川改修整備促進期成同盟会」、「国道13号大曲・秋田間整備促進期成同盟会」並びに「高規格道路本荘大曲道路整備促進期成同盟会」につきましては、近隣自治体の同盟会とともに、6月14日から8月1日までの間、内閣官房、国土交通省、財務省、秋田県選出国会議員、秋田県などに対し、集中的に要望活動を行っております。今後も、重要な社会基盤である道路や河川の機能向上が早期に図られるよう、関係自治体と連携しながら要望活動を積極的に展開してまいります。

次に、教育委員会事務局関係についてであります。

「大仙市中学生サミット」につきましては、8月8日、仙北ふれあい文化センターを会場に開催しております。メインテーマである「大仙市の未来は私たちがつくる」のもと、今年度のサミットでは、「SDGsプロジェクト 私たちの思いを広げ、未来につなげていこう」を活動テーマに、各校の活動見える化することにより、SDGsとのつながりを見つめ直すとともに、活動の共有や深化を図りながら、未来につなげていくための方策について活発な意見交換が行われております。

サミットの冒頭では、今年度、新たに開始した「大仙市ＳＤＧｓレポーター」制度に基づき、レポーターに任命された大曲南中学校の生徒3名が、活動成果の発表や「地球温暖化」をテーマにした提案を行い、ＳＤＧｓの達成に向け、協力して行動することの重要性を訴えております。本市の未来を担う子どもたちが、グローバルな課題を自分事として捉え、ローカルの視点で考える機会は非常に意義深いものと考えております。今後もこうした機会の創出に努めてまいります。

最後に、令和5年度の決算及び財政状況について申し上げます。令和5年度決算につきましては、歳入において市税収入が当初見込みを大きく上回ったことや、普通交付税の追加配分があったことに加え、歳出では、少雪による除排雪経費の縮減や、国の総合経済対策により施設運営費が縮減されたことなどから、普通会計の実質収支は過去2番目となる21億7,152万5千円の黒字となっております。実質単年度収支につきましても、財政調整基金の積み増しを図ったことなどにより、6年連続の黒字決算となる2億7,611万6千円を確保しております。

国民健康保険事業特別会計をはじめとする各特別会計の決算につきましては、全ての会計において実質収支がゼロまたは黒字となっており、市立大曲病院事業会計など4つの企業会計の決算における収益的収支は、

いずれも黒字となっております。

主な財政指標につきましては、速報値ではありますが、実質公債費比率は、単年度比率が 11.6% に改善したものの、3か年の平均では、0.4 ポイント増の 11.4% となる見込みであります。

また、将来負担比率については、全会計の市債残高が減少していることに加え、財政調整基金や減債基金、特定目的基金の積み増しにより、前年度から 13.3 ポイント減の 72.4% と、大きく改善する見込みとなっております。

今後の財政見通しにつきましては、高水準の賃上げや堅調な企業収益、設備投資などにより、経済の持続的な成長が期待される一方で、不安定な世界情勢や金利変動リスクを背景に、先行きは依然として不透明な状況にあります。

加えて、加速する人口減少などにより財政構造のさらなる硬直化が懸念される中、社会保障をはじめとした義務的経費や金利のある世界の到来に伴う利払い費の増加、待ったなしの少子化対策、インフラの更新と強靭化、学校再編をはじめとした公共施設の統廃合などによる歳出の増大が見込まれており、今後も厳しい財政運営が続くものと考えております。

さらには、激甚化・頻発化する災害などの有事に迅速に対応するため、一定の財政余力の確保も不可欠であります。

こうした見通しのもと、より踏み込んだ事業の選択と集中や公共施設等総合管理計画の着実な実行、市債の発行額抑制、中長期的展望にたった基金の造成など、引き続き将来にわたり持続可能な行財政運営に努めながら、こども・子育て施策やDX、GXなどの「未来への投資」については積極的に推進してまいります。

以上、諸般の状況をご報告申し上げましたが、今後とも、市民の皆様並びに議員各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げまして、市政の報告とさせていただきます。

別添

令和6年第3回大仙市議会定例会

**市政報告（諸般の報告）**

令和6年8月23日

大仙市

## 目 次

### 【健康福祉部】

- 1 新型コロナワクチンの定期接種について ..... 1

### 【農林部】

- 2 水稲の成育状況について ..... 1  
3 市の花「コスモス」の普及促進事業について ..... 1

### 【観光文化スポーツ部】

- 4 友好交流都市との交流事業について ..... 1  
5 各地域の夏まつり行事について ..... 1  
6 中里温泉改築事業について ..... 2  
7 スポーツ等サマーキャンプについて ..... 2

### 【建設部】

- 8 物渡台地区防災集団移転促進事業について ..... 2  
9 国・県との事業調整会議について ..... 2  
10 雄物川上流激甚災害対策特別緊急事業完成式について ..... 3

### 【教育委員会事務局】

- 11 「大仙ふるさと博士育成」事業について ..... 3  
12 大仙市ふるさと探訪楽園ツアーについて ..... 3  
13 Music Festival in DAISEN 大音郷 2024について ..... 3

### 【上下水道局】

- 14 上水道事業について ..... 3  
15 簡易水道事業について ..... 4  
16 下水道事業について ..... 4

### 【経済対策】

- 17 物価高騰対策 6月定例会 ..... 4

## 【健康福祉部】

### 1 新型コロナワクチンの定期接種について

65歳以上の高齢者等を対象とした新型コロナワクチンの定期接種につきましては、10月の接種開始に向け、協力機関と連携しながら体制の整備を進めております。接種を希望する皆様がスムーズに接種することができるよう、接種への助成制度を含め、市広報やホームページ等を通じて周知を図ってまいります。

## 【農林部】

### 2 水稲の成育状況について

水稻の生育状況につきましては、田植え後、天候に恵まれ、平年より高い気温で経過したこともあり、出穂期は平年より1日早い8月1日となっております。一方で、草丈が平年より長く、倒伏が懸念されるほか、高温の影響が心配されることから、引き続き、県やJA等関係機関と連携しながら適切な栽培管理を呼びかけてまいります。

### 3 市の花「コスモス」の普及促進事業について

市の花であるコスモスの普及促進事業につきましては、8月15日から16日にかけて、大仙市緑化推進委員会が市内の小中学校や公民館、介護施設など91施設に対し、あわせて245個のコスモスプランターを配布したほか、要望のあった市内の小学校9校にコスモスの種子を提供しております。

## 【観光文化スポーツ部】

### 4 友好交流都市との交流事業について

8月1日から1泊2日の日程で、本市の子育て世帯24組75名が友好交流都市である岩手県宮古市が主催する「本州最東端・宮古の海招待事業」に参加し、地引き網体験や遊覧船クルーズなどを通じ、宮古市の魅力を体験しております。

8月31日には、「『大曲の花火』宮古市民招待事業」として、宮古市在住の子育て世帯24組78名の皆様を第96回全国花火競技大会「大曲の花火」に招待することとしております。

### 5 各地域の夏まつり行事について

各地域や地区において、特色豊かな夏まつり行事が次のとおり開催されております。

8月 3日	第14回太田の夏まつり（太田地域）
8月 14日	角間川盆踊り（大曲地域）
8月 15日	まつり彩夏せんぼく2024（仙北地域）
8月 15日	第37回ふるさと西仙まつり（西仙北地域）
8月 16日	第8回南外盆踊り（南外地域）
8月 16日	第40回ドンパン祭り（中仙地域）

## 6 中里温泉改築事業について

中里温泉改築事業につきましては、既存の就業改善センターと南部コミュニティセンターの解体作業が概ね完了したほか、同時に進めているふるさと館のリニューアル工事も順調に進捗しております。7月末日現在の進捗率は26.1%となっております。

## 7 スポーツ等サマーキャンプについて

首都圏を中心に5団体（大学4、スポ少1）、約300人が本市を訪れ、市内施設を利用してサマーキャンプを行っており、県内の企業や大学との交流試合や、小・中学生を対象としたスポーツ教室などを通じて交流が図られております。

### 【建設部】

## 8 物渡台地区防災集団移転促進事業について

西仙北地域と南外地域の境界部に位置する物渡台地区の防災集団移転促進事業につきましては、国庫補助金の交付決定を受け、6戸の土地売買及び建物補償に係る契約締結を進めております。また、移転先の土地造成工事につきましては、8月末の工事完了を予定しており、引き続き国と連携しながら、早期の移転完了に向けて事業を推進してまいります。

## 9 国・県との事業調整会議について

国並びに県との事業調整会議につきましては、8月7日に秋田県仙北地域振興局建設部と、8月20日に国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所及び成瀬ダム工事事務所との会議をそれぞれ開催し、国や県が管理する道路・河川に関する要望とあわせ、今年度に実施を予定している事業に係る協力・連携事項について協議を行っております。

## 10 雄物川上流激甚災害対策特別緊急事業完成式について

雄物川上流激甚災害対策特別緊急事業の完了に伴い、10月6日、国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所との共催で、完成式を開催する予定となっております。

### 【教育委員会事務局】

## 11 「大仙ふるさと博士育成」事業について

今年度で9年目を迎える「大仙ふるさと博士育成」事業につきましては、小学校3年生から中学校3年生までを対象に、夏季休業中の特別企画として、野菜の収穫等を実際に体験する「ふるさと農業体験DAY」と、全国や世界に誇る実績をもつ市内事業所を見学する「ふるさと企業見学DAY」を実施しております。

児童生徒や保護者の関心が高く、本年度も多くの申し込みをいただいており、ふるさとの魅力に直接触れる機会を通じて、児童生徒のふるさとに対する愛着心を高めるとともに、ふるさとの未来を拓く人材の育成につながることを期待しております。

## 12 大仙市ふるさと探訪楽園ツアーについて

地域資源に対する学習意欲のさらなる向上を目指す「大仙市ふるさと探訪楽園ツアー」につきましては、7月18日の歴史探訪を皮切りに、文化財や歴史、自然などを題材に3つのコースでツアーを実施しております。ふるさとの魅力を再認識するとともに、健幸まちづくりプロジェクトやふるさと博士育成事業との連携により、健康づくりや地域への理解を深める機会となっております。

## 13 Music Festival in DAISEN 大音郷 2024 について

本市に縁のある若手アーティストを中心とした音楽文化発信型イベント「Music Festival in DAISEN 大音郷 2024」につきましては、6月23日、大曲市民会館大ホールを会場に開催しております。当日は6組のアーティストが出演し、来場した約570人の皆様にお楽しみいただいております。

### 【上下水道局】

## 14 上水道事業について

老朽化した配水管の改良工事につきましては、大曲地域の戸巻町、須和町、角間川町字東本町地内の発注を終えております。

また、配水管移設工事につきましては、県の電線共同溝整備事業に伴う丸の内町地内の発注を終えており、残る内小友字馬場地内については、現在、発注に向けた準備を進めております。

## 15 簡易水道事業について

令和2年度から進めてきた大曲地域内小友中山地区の水道未普及地域解消事業につきましては、すべての工事が完了し、7月22日に給水を開始しております。

西仙北地域刈和野地区の配水管更新事業につきましては、仕切弁設置工事の発注を終えております。また、西仙北地域大野地区を神岡地域の神宮寺地区に統合する統合簡易水道事業につきましては、配水管布設工事の発注を終えております。

## 16 下水道事業について

管渠改築工事につきましては、大曲地域の若竹町地内における老朽管更新工事のほか、仙北地域の板見内地内における下水道管への不明水流入を解消する工事の発注を終っております。

協和地域の水沢地区と稻沢地区の農業集落排水施設統合事業につきましては、処理場の機械及び電気設備の改修工事、防水・防食工事の発注を終っております。

## 【経済対策】

### 17 物価高騰対策 6月定例会

#### (1) 住民税非課税世帯への支援事業

令和6年度に新たに住民税が非課税となった世帯に対し、1世帯あたり10万円を支給するもので、7月25日に対象となる可能性のある577世帯へ確認通知書を発送し、8月21日までに137世帯に支給しております。

#### (2) 住民税均等割のみ課税世帯への支援事業

令和6年度に新たに住民税の均等割のみの課税となった世帯に対し、1世帯あたり10万円を支給するもので、7月25日に対象となる可能性のある587世帯へ確認通知書を発送し、8月21日までに151世帯へ支給しております。

### **(3) 定額減税補足給付事業**

定額減税の対象となった方のうち、定額減税可能額が定額減税前の令和6年分推計所得税額、または令和6年度個人住民税所得割額を上回る方に対し、その差額を給付するもので、対象者のうち、公金受取口座登録者9,892人に対し、8月28日に支給する予定となっております。

### **(4) 低所得子育て世帯への支援事業**

令和6年度に新たに住民税が非課税となった世帯、及び均等割のみの課税となった世帯のうち、18歳以下の児童を養育する世帯に対し、児童1人あたり5万円を給付するもので、支給要件の確認が完了し次第、順次支給を進めてまいります。